

WILCOMM

メッセージ リスト操作ガイド

AS0005 (Last Update : 2002/5/7)

WilComm AS400 V7.15
© Copyright 2000
K.I.S.S. Inc.



本解説書は、W I l C o m mが処理（F A X、M a i l、P r i n t）した送信状況の照会を行うための方法、W i l C o m mを使用しての再送信を行うための方法について解説しています。

< 目 次 >

1. 画面説明	3 頁
1－1. スプールファイル単位画面の説明	4 頁
1－2. 表示されるデータの選択方法	7 頁
1－3. ページ単位画面の説明	10 頁
2. 再送信の方法	13 頁

1. 画面説明

W i l C o m mは各送信サービス（F A X, M a i l, P r i n t）で処理された送信状況をA S / 4 0 0（iSeries400）で一元管理しています。

一元管理された送信状況の照会を行う機能が“メッセージリスト”です。

メッセージリストはオンラインにて送信状況の照会や再送信処理を実現します。

■メッセージリストの起動

①A S / 4 0 0（iSeries400）のコマンドラインにG O Wを入力して実行します。

②W i l C o m mメニューの2番（メッセージリストの表示）を実行します。

※業務メニューなどに当機能を組み込まれている場合は業務メニューより実行します。

フォーマット: 1 KOIDE WILCOMM メッセージ・リスト		2:12PM 2/02/23
メッセージ	件名	状況
MSG12234	WILCOMM インターセプター : TEST-WM	MS- 送信済 <F
MSG12229	WILCOMM インターセプター : KOIDE	E-M 送信済
MSG12228	WILCOMM インターセプター : KOIDE	E-M 送信済
MSG12220	<R> 03-5408-7683	FAX 処理中
MSG12219	SBS00000060 02/02/21 TEST	FIL 送信済
MSG12218	MASA 02/02/20 CSV ファイル送信	E-M 送信済
MSG12216	WILCOMM インターセプター : PDF 変換	E-M 送信済
MSG12215	<R> 5408-7683	FAX 送信済
MSG12213	WILCOMM インターセプター : PDF 変換	E-M 送信済
MSG12212	<R> 5408-7683	FAX 送信済
MSG12217	WILCOMM インターセプター : JNMOBILE	E-M 送信済
MSG12214	WILCOMM インターセプター : JNMOBILE	E-M 送信済
MSG12227	WILCOMM インターセプター : KOIDE	E-M 送信済
MSG12226	管理No : 906908	FAX エラー <F
MSG12222	WILCOMM インターセプター : KOIDE-P	PRT 印刷済
MSG12221	SAMPLE 02/02/21 SPOOL -> PDF-FILE	FIL 送信済
1= 編集 2= 変更 3=コピー 4= 削除 5= 表示 6= 印刷 7=アドレス 8= 送信 9= 保留 0= 開放		
F3= 終了 F4=メッセージ表示 F5= 最新表示 F6= 新規作成 F7=フォーマット 選択		
F8=ディレクトリ F9=ユーザー・オプション F10=フィルター F11= 表示切替 F12= 前画面		
(C) 所有権 WILKINSON COMPUTER SERVICESメルボルン オーストラリア 1987-2000		
WILCOMM/400 バージョン 7.15		
... PRESS F13 TO CREATE A MESSAGE ...		

最初にスプールファイル単位の状況照会画面が表示されます。

1-1. スプールファイル単位画面の説明

スプールファイル単位画面ではWilCommにて処理されたスプールファイル別に状況照会を行います。

フォーマット: 1	KOIDE	WILCOMM	メッセージ・リスト	2:12PM	2/02/23
メッセージ	件名			状況	
MSG12234	WILCOMM インターセプター	:	TEST-WM	MS-	送信済 <F
MSG12229	WILCOMM インターセプター	:	KOIDE	E-M	送信済
MSG12228	WILCOMM インターセプター	:	KOIDE	E-M	送信済
MSG12220	<R> 03-5408-7683			FAX	処理中
MSG12219	SBS00000060	02/02/21	TEST	FIL	送信済
MSG12218	MASA	02/02/20	CSV ファイル送信	E-M	送信済
MSG12216	WILCOMM インターセプター	:	PDF 変換	E-M	送信済
MSG12215	<R> 5408-7683			FAX	送信済
MSG12213	WILCOMM インターセプター	:	PDF 変換	E-M	送信済
MSG12212	<R> 5408-7683			FAX	送信済
MSG12217	WILCOMM インターセプター	:	JNMOBILE	E-M	送信済
MSG12214	WILCOMM インターセプター	:	JNMOBILE	E-M	送信済
MSG12227	WILCOMM インターセプター	:	KOIDE	E-M	送信済
MSG12226	管理No : 906908			FAX	エラー <F
MSG12222	WILCOMM インターセプター	:	KOIDE-P	PRT	印刷済
MSG12221	SAMPLE	02/02/21	SP00L -> PDF-FILE	FIL	送信済
1= 編集 2= 変更 3=コピー 4= 削除 5= 表示 6= 印刷 7=アドレス 8= 送信 9= 保留 0= 開放					
F3= 終了 F4=メッセージ 表示 F5= 最新表示 F6= 新規作成 F7=フォーマット 選択					
F8=ディレクトリ F9=ユーザー・オプション F10=フィルター F11= 表示切替 F12= 前画面					
(C) 所有権 WILKINSON COMPUTER SERVICES メルボルン オーストラリア 1987-2000					
WILCOMM/400 バージョン 7.15					
... PRESS F13 TO CREATE A MESSAGE ...					

■表示順

一覧は、印刷物の所有者別／WilComm が付番したメッセージ ID 順に表示されます。

■フォーマット入力欄

<配信状況>

入力できる値は“ 1 ”から“ 7 ”までです。フォーマットを変える事により、表示するスプールファイル情報を切り替えることができます。

(主にフォーマット“ 1 ”を使用します)

<受信状況 (Mail 機能の受信機能を使用している場合のみ)>

入力できる値は“ I ”と“ J ”です。フォーマットを変える事により、メール受信された情報の表示を切り替えることができます。

(主にフォーマット“ I ”を使用します)

■オプション入力欄

“ 1= 編集 2= 変更 3=コピー 4= 削除 5= 表示 6= 印刷 7=アドレス 8= 送信 9= 保留
0= 開放 ” があります。

現在使用できるオプションは、“ 4= 削除 5= 表示 ” のみです。その他のオプションは次バージョンアップ以降での機能拡張用です。

オプション“ 5= 表示 ” を実行すると、スプールファイルの内容が表示されます。実行キーを押すことにより、次ページが表示されます。

オプション“ 4= 削除 ” は、W i l C o m m内部から該当スプールファイルを削除します。

■画面に表示されている状況（送信状況）の説明

状況が、“送信中”、“転送中”、“E-M 送信中”などの“XXX 送信中”や“E-M 処理中”などの“XXX 処理中”の場合は、W i l C o m mが配信処理を行っています。

状況が、“E-M 送信済”、“FAX 送信済”、“MS- 送信済”などの“XXX 送信済”以外の場合は、何らかのエラーが起きている状況です。後述の 1－3. のページ単位画面の説明を参照して、ページ毎の状況を確認して下さい。

状況が“保留中”の場合は、配信条件に合致していないため配信処理がでしな状況です。至急、W i l C o m m設定担当者に連絡してください。

“XXX 送信済 <F”と表示されている場合は、全てのページが送信されていないことを示しています。例えばスプールが 3 ページあり、1 ページ目、2 ページ目は送信できたけれども 3 ページ目が送信できなかったような場合に表示されます。

※“XXX エラー <F”と表示されている場合は、全ページが送信されいないことを示しています。この時、全ページを再送信処理を行なうと、“XXX 送信済 >R”と表示が更新されます。

この時に 3 ページ目を再送信すると“XXX 送信済 >R”と表示が更新されます。
(再送信されたデータの送信成功／失敗を問わずに表示が更新されます)

“XXX 送信済 >R”は、全てのページの再送信を行い成功した場合に表示されます。エラーのページが残っている場合は、“XXX 送信済 <F”の表示のままになります。

■ファンクションキー

“ F3= 終了 F4=メッセージ 表示 F5= 最新表示 F6= 新規作成 F7=フォーマット 選択
F8=ディレクトリ F9=ユーザー・オプション F10=フィルター F11= 表示切替 F12= 前画面 ” が
あります。

“ F3= 終了 F5= 最新表示 F12= 前画面 ” は A S / 4 0 0 (iSeries400) の操作
に準拠しています。

“ F4=メッセージ 表示 ” を実行すると、A S / 4 0 0 (iSeries400) のメッセージが
表示されます。

“ F7=フォーマット 選択 ” を実行すると上記で説明したフォーマット欄を選択することが
できます。

“ F8=ディレクトリ ” を実行すると W i l C o m m 送信処理用設定画面の照会が行えます。
このファンクションキーは W i l C o m m 設定担当者用になっています。

“ F9=ユーザー・オプション ” を実行すると、W i l C o m m が提供しているオプション以外
の作成（これによりユーザーアプリケーションの起動が可能です）をすることが可能
です。詳細につきましてはマニュアル『メッセージリストのユーザー・オプション
機能』を参照してください。

“ F11= 表示切替 ” を実行すると、画面の表示レイアウトが以下のようになります。

フォーマット: 1 KOIDE	WILCOMM メッセージ・リスト	3:06PM 2/02/23
メッセージ	件名	状況
MSG12234 WILCOMM インターセプター : TEST-WM		MS- 送信済 <F
オーナー : WILPLEX オーサー : WILPLEX FROM:		
MSG12229 WILCOMM インターセプター : KOIDE		E-M 送信済
オーナー : WILPLEX オーサー : WILPLEX FROM:		
MSG12228 WILCOMM インターセプター : KOIDE		E-M 送信済
オーナー : WILPLEX オーサー : WILPLEX FROM:		
MSG12220 <R> 03-5408-7683		FAX 処理中
オーナー : TAK オーサー : QSECOFR FROM:		
MSG12219 SBS00000060 02/02/21 TEST		FIL 送信済
オーナー : QSECOFR オーサー : QSECOFR FROM:		
MSG12218 MASA 02/02/20 CSV ファイル送信		E-M 送信済
オーナー : QSECOFR オーサー : QSECOFR FROM:		
MSG12216 WILCOMM インターセプター : PDF 変換		E-M 送信済
オーナー : QSECOFR オーサー : QSECOFR FROM:		
MSG12215 <R> 5408-7683		FAX 送信済
オーナー : QSECOFR オーサー : QSECOFR FROM:		
1= 編集 2= 変更 3=コピー 4= 削除 5= 表示 6= 印刷 7=アドレス 8= 送信 9= 保留 0= 開放		
F3= 終了 F4=メッセージ 表示 F5= 最新表示 F6= 新規作成 F7=フォーマット 選択		
F8=ディレクトリ F9=ユーザー・オプション F10=フィルター F11= 表示切替 F12= 前画面		

“ F10=フィルター ” で表示されるデータの抽出条件を変更することができます。詳細は
後述の 1 - 2. 表示されるデータの選択方法を参照してください。

1-2. 表示されるデータの選択方法

スプールファイル単位画面で“F10=フィルター”を押します。

KOIDE	メッセージ・リスト表示設定	3:06PM 2/02/23
メッセージ・リストに表示させる項目を選択して下さい。		
表示メッセージ・タイプ		
ローカル・メッセージ：(フォーマット 1 ～ 7)		表示 (ブランク/Y)
送信中		Y
配布確定待ち		Y
宛名確定 (未送信)		Y
宛先不明		Y
転送済み		Y
受信 メッセージ：(フォーマット I か J)		
転送前		Y
転送中		Y
追加要求無し		Y
回線不良		Y
検索		
検索する文字列を入力して下さい。 :		
英大文字／小文字の無視 (N/Y): Y 置換可能文字 : *		
検索 メッセージ・テキスト N		
ユーザ - の組合せ		
著作者 : *ALL	アドレス :	*ALL
送信者 : *ALL	作成者 :	*ALL
オーナー : *ALL		
ロールアップで次のオプション設定画面へ F12= 前画面		

■表示メッセージタイプ

<ローカル・メッセージ>

送信状況別に画面に表示するデータの選択が可能です。

(一般的には全てに“Y”を設定します。)

<受信 メッセージ>

メール受信状況別に画面に表示するデータの選択が可能です。

(一般的には全てに“Y”を設定します。)

※この設定はサイン・オフ (A S / 4 0 0 終了) しても保持されます。

■検索

<検索する文字列>

スプールファイル属性またはスプールファイルの印字データからの検索する文字列を入力します。

<検索 メッセージ・テキスト>

“N”の場合は、上記の検索する文字をスプールファイル属性(作成者など)から検索を行い、該当スプールファイルの選択表示が可能です。

“Y”の場合は、上記の検索する文字をスプールファイルの印字データから検索を行い、該当スプールファイルの選択表示が可能です。

※検索処理が実行されるため、表示までに時間がかかります。

※この設定はサイン・オフ (A S / 4 0 0 終了) しても保持されます。

■ユーザーの組み合わせ

ユーザープロファイル別に該当スプールファイルの選択表示が可能です。
(一般的には、作成者またはオーナーに選択表示させたいユーザープロファイルを設定します。)

※この設定はサイン・オフ (A S / 4 0 0 終了) しても保持されます。

P a g e D o w n キーで次のオプション設定画面に遷移します。

KOIDE	メイン・リスト・フィルター	3:06PM 2/02/23
表示 メッセージ 番号 (*-ワイルドカード):		
タイム レンジ		
	日付	時刻
メッセージ の作成		T0
最終内部送信		T0
送信済/送信予定		T0
(システム 日付の形式で入力。24 時間時計。ブランク は最大最小を自動設定)		
表示順		
昇順表示 (A)、降順表示 (D).....: D		
プリント オプション		
メッセージ 印刷の時の印刷 オプション:		
メッセージ テキスト の印刷のみ		1
メッセージ テキスト と ヘッダー 情報の印刷		2
システム 詳細の印刷		3
ロールダウンで前のオプション設定画面へ F12= 前画面		

■表示メッセージ番号

W i l C o m m が管理するメッセージ番号のプレフィックス (例: M S G など) + “ * ” (ワイルドカード) を設定することにより、設定されたプレフィックスのみを選択表示することが可能です。

※W i l C o m m が管理するメッセージ番号のプレフィックスの設定方法は別紙『メッセージプレフィックスの設定』を参照してください。

■タイムレンジ

<メッセージの作成>

WilCommに送信指示（WilCommにスプールファイルを投入）した日時によるタイムレンジを指定することにより、その期間内に処理したスプールファイルの選択表示が可能です。

例） 2002年2月1日から2002年2月15日までのスプールファイルを表示

タイムレンジ	日付	時刻	日付	時刻
メッセージの作成	<u>020201</u>	<u>0000</u>	T0	<u>020215</u> <u>2359</u>
最終内部送信			T0	
送信済／送信予定			T0	

(システム 日付の形式で入力。24時間時計。空白は最大最小を自動設定)

例） 2002年2月16日以降現在までのスプールファイルを表示

タイムレンジ	日付	時刻	日付	時刻
メッセージの作成	<u>020216</u>	<u>0000</u>	T0	
最終内部送信			T0	
送信済／送信予定			T0	

(システム 日付の形式で入力。24時間時計。空白は最大最小を自動設定)

<最終内部送信>

現在使用できる選択条件は上記の<メッセージの作成>のみです。このタイムレンジの設定は次バージョンアップ以降での機能拡張用です。

<送信済／送信予定>

現在使用できる選択条件は上記の<メッセージの作成>のみです。このタイムレンジの設定は次バージョンアップ以降での機能拡張用です。

■表示順

スプールファイル単位画面の表示順（スプールファイルの所有者別／WilCommが付番したメッセージID順）を設定します。

<昇順表示（A）>

表示順（スプールファイルの所有者別／WilCommが付番したメッセージID順）を昇順に表示します。

<降順表示（A）>

表示順（スプールファイルの所有者別／WilCommが付番したメッセージID順）を降順に表示します。

■プリントオプション

現在機能しません。この設定は次バージョンアップ以降での機能拡張用です。

1-3. ページ単位画面の説明

ページ単位画面ではW i l C i mmにて処理されたスプールファイルをページ別に状況照会を行います。

該当スプールファイルのオプションに“ X ”を入力し、実行します。

フォーマット: 1	KOIDE	WILCOMM メッセージ・リスト	2:12PM 2/02/23
メッセージ	件名		状況
X MSG12234	WILCOMM インターセプター : TEST-WM		MS- 送信済 <F
MSG12229	WILCOMM インターセプター : KOIDE		E-M 送信済
MSG12228	WILCOMM インターセプター : KOIDE		E-M 送信済
MSG12220	<R> 03-5408-7683		FAX 処理中
MSG12219	SBS00000060 02/02/21 TEST		FIL 送信済
MSG12218	MASA 02/02/20 CSV ファイル送信		E-M 送信済

ページ単位画面表示されます。

フォーマット: P	1	WILCOMM インターセプター : TEST-WM	2:12PM 2/02/23
OPT ページ サービス	件名/宛先	MSGID: MSG12234	状況
1 PRINT	\\PS1\LBP450		送信済
2 EMAIL	KOIDE@KISS21.CO.JP		送信済
3 FAX	9999-9999		** 失敗 **
4 PRINT	\\PS1\LBP450		送信済
5 -----	<<<----- PAGE DOWNLOAD CONTROL RECORD ----->>>		送信中
6 FAX	54087683		送信済

フォーマット 及び オプションの詳細は ヘルプキー F3= 終了 F5= 再表示 F11= 表示切替

■フォーマット入力欄

入力できる値は“ S ”・“ P ”・“ E ”です。各フォーマットにより表示順の切り替えや送信エラーページのみを表示することが可能です。

<フォーマット：“ P ”>

スプールファイルのページ順にスプールファイルの全ページを表示します。

フォーマット: P	1 WILCOMM インターセプター : TEST-WM	2:12PM 2/02/23
OPT ページ サービス	件名/宛先	MSGID: MSG12234 状況
1 PRINT	\\PS1\LBP450	送信済
2 EMAIL	KOIDE@KISS21.CO.JP	送信済
3 FAX	9999-9999	** 失敗 **
4 PRINT	\\PS1\LBP450	送信済
5 -----	<<<----- PAGE DOWNLOAD CONTROL RECORD ----->>>	送信中
6 FAX	54087683	送信済

<フォーマット：“ S ”>

送信方法（サービス）別（PCサーバーにて設定）にスプールファイルのページ順にスプールファイルの全ページを表示します。

フォーマット: S	1 WILCOMM インターセプター : TEST-WM	2:12PM 2/02/23
OPT ページ サービス	件名/宛先	MSGID: MSG12234 状況
5 -----	<<<----- PAGE DOWNLOAD CONTROL RECORD ----->>>	送信中
3 FAX	9999-9999	** 失敗 **
6 FAX	54087683	送信済
2 EMAIL	KOIDE@KISS21.CO.JP	送信済
1 PRINT	\\PS1\LBP450	送信済
4 PRINT	\\PS1\LBP450	送信済

注意：サービスが“ ----- ”のデータは、送信対象外のページを表します。
この場合の状況は“ 送信中 ”となります。

<フォーマット：“ E ”>

送信エラー（状況：失敗）のページのみを表示します。

フォーマット: E	1 WILCOMM インターセプター : TEST-WM	2:12PM 2/02/23
OPT ページ サービス	件名/宛先	MSGID: MSG12234 状況
3 FAX	9999-9999	** 失敗 **

■オプション入力欄

入力できる値は“ 5 ”（表示）と“ 8 ”／“ R ”（再送信）です。

“ 5 ”（表示）を入力し、実行するとスプールファイルの内容が表示されます。

“ 8 ”／“ R ”（再送信）を入力し、実行すると再送信処理が行なえます。

処理方法については、後述の 2. の再送信の方法を参照してください。

■ ファンクションキー

フォーマット 及び オプションの詳細は ヘルプキー F3= 終了 F5= 再表示 F11= 表示切替

“ F3= 終了 F5= 再表示 ” は A S / 4 0 0 (iSeries400) の操作に準拠しています。

“ フォーマット 及び オプションの詳細は ヘルプキー ” は、ヘルプを参照したい入力域にカーソルを合わせ
“ A l t ” キー + F 1 キーを押します。 (F 1 キーのみでは表示されません)

“ F11= 表示切替 ” を実行すると、画面の表示レイアウトが以下のようになります。

フォーマット: P	1 WILCOMM インターセプター : TEST-WM	2:12PM 2/02/23
OPT ヘルプ サービス 件名/宛先	MSGID: MSG12234	状況
1 PRINT \\PS1\LBP450		送信済
\\PS1\LBP450		
設定 : PRINT	23/02/02 14:00:15	SENT TO PRINTER SPOOL QUE
コピー-#: 1		UE.
2 EMAIL KOIDE@KISS21.CO.JP		送信済
KOIDE@KISS21.CO.JP		
設定 : MAIL	23/02/02 14:00:27	SENT TO MAIL SERVER.
コピー-#: 1		
3 FAX 9999-9999		** 失敗 **
9999-9999		
設定 : FAX	23/02/02 14:03:12	通信先の装置がファックスでないか、またはライ
コピー-#: 1		
	\$02/02/23 14:00:13\$0\$1\$0\$2	
4 PRINT \\PS1\LBP450		送信済
\\PS1\LBP450		
設定 : PRINT	23/02/02 14:00:15	SENT TO PRINTER SPOOL QUE
コピー-#: 1		UE.

フォーマット 及び オプションの詳細は ヘルプキー F3= 終了 F5= 再表示 F11= 表示切替

※表示切替を行うことにより、送信エラーになった際のエラーメッセージが確認できます。

2. 再送信の方法

W i l C o m mは各送信サービス（F A X, M a i l, P r i n t）で処理されたスプールファイルをページ毎／ページの範囲指定（F r o m、T oの指定）、スプールファイルの全ページを再送信することが可能です。

また、ページ毎に再送信を行う場合は一度送信した宛先以外に同一のスプールファイルの同一ページを送信することが可能です。

ページ単位の画面からオプションに“ 8 ”または“ R ”を入力し、実行します。

フォーマット: P	1	WILCOMM インターセプター : TEST-WM	4:19PM	2/02/26
OPT ページ サービス	件名／宛先	MSGID: MSG12234	状況	
	1 PRINT \\PS1\LBP450		送信済	
R	2 EMAIL KOIDE@KISS21.CO.JP		送信済	
	3 FAX 9999-9999		** 失敗 **	
	4 PRINT \\PS1\LBP450		送信済	
	5 ----- <<<----- PAGE DOWNLOAD CONTROL RECORD ----->>>		送信中	
	6 FAX 54087683		送信済	

再送信処理画面が表示されます。

KOIDE	WILCOMM - 再処理要求	4:20PM	2/02/26
MSG: MSG12234 WILCOMM インターセプター : TEST-WM			
ページ:	2	KOIDE@KISS21.CO.JP	
再送するページ数 (このページを含む) : 1 (9999 で最終ページまで送信)			
または 最終ページまで送信なら Y を入力 :			
新規配信 アドレス :			
KOIDE@KISS21.CO.JP			
オリジナル 詳細 :			
アドレス : KOIDE@KISS21.CO.JP			
ステータス : 送信済			
ウィザードセクション : MAIL		サービス : EMAIL	
送信情報 : 14:00:27 23/02/02			
処理 MSG: SENT TO MAIL SERVER.			
補足 :			
追加情報 :			
F10= 継続		F12= 戻る	

再送信されるページは、ページ単位画面のオプションで“ 8 ”または“ R ”と入力したページが基準になります（「最終ページまで送信なら Y を入力」を指定しない場合に限ります）。言い換えると選択したページが再送信を行うページの開始ページ（F r o m）となります。

■再送するページ数（このページを含む）

再送信されるページは、ページ単位画面のオプションで“ 8 ”または“ R ”と入力したページ（画面上のページに該当ページ数が表示されます）から、同一の送信サービスでかつ同一宛先内で、このページ以降何ページ分を再送信するかを指定します。



ページ単位画面のオプションで“ 8 ”または“ R ”と入力したページから、同一の送信サービスでかつ同一宛先内で、ページ単位画面に表示された何行分を再送信するかを指定します。

例：ページ単位画面のフォーマット：“ S ”で表示

フォーマット: S	1 WILCOMM インターセプター : TEST-WM	2:12PM 2/02/23
OPT ページ サービス	件名/宛先	MSGID: MSG12234 状況
5 -----	<<<----- PAGE DOWNLOAD CONTROL RECORD ----->>>	送信中
R 3 FAX	54087683	** 失敗 **
6 FAX	54087683	送信済
2 EMAIL	KOIDE@KISS21.CO.JP	送信済
1 PRINT	\\PS1\LBP450	送信済
4 PRINT	\\PS1\LBP450	送信済

サービス“ FAX ”で画面 2 行目（スプールファイルの 3 ページ目）に“ R ”（再送信）を実行し、再送するページ数（このページを含む）に 2 を入力した場合の再送信されるページは、

選択した画面 2 行目（スプールファイルの 3 ページ目）と画面 3 行目（スプールファイルの 6 ページ目）が再送信されます。



スプールファイルの 3 ページ目と 4 ページ目が再送信されるのではなく、画面の 3 行目に表示されたスプールファイルの 6 ページ目が送信されることに注意してください。

サービスが“ FAX ”で画面 2 行目（スプールファイルの 3 ページ目）に“ R ”（再送信）を実行し、再送するページ数（このページを含む）に 9 9 9 9（最終ページまで）を入力した場合の再送信されるページは、

選択した画面 2 行目（スプールファイルの 3 ページ目）と画面 3 行目（スプールファイルの 6 ページ目）のみが再送信されます。



画面の 4 行目（スプールファイルの 2 ページ目）、5 行目（スプールファイルの 1 ページ目）、6 行目（スプールファイルの 4 ページ目）はサービスが選択した画面 2 行目のサービスと異なるので、再送信されないことに注意してください。

注意：上記例の画面 3 行目（スプールファイルの 6 ページ目）の宛先が、画面 2 行目（スプールファイルの 3 ページ目）と違う場合は、画面 2 行目（スプールファイルの 3 ページ目）のみが送信されることに注意してください。
複数ページの再送信は同一送信サービスでかつ同一宛先のみです。

■または 最終ページまで送信なら Y を入力
再送信されるページは、同一の送信サービスでかつ同一宛先内の最終ページまでとなります。
ページ単位画面のオプションで“ 8 ”または“ R ”と入力したページ（画面上のページに該当ページ数が表示されます）は無視され同一の送信サービスでかつ同一宛先の先頭から最終ページまでが送信されます。

例：ページ単位画面のフォーマット：“ S ”で表示

フォーマット: S	1	WILCOMM インターセプター	: TEST-WM	2:12PM	2/02/23
OPT ページ サービス	件名/宛先	MSGID: MSG12234	状況		
5 -----	<<<----- PAGE DOWNLOAD CONTROL RECORD ----->>>		送信中		
R 3 FAX	54087686		** 失敗 **		
6 FAX	54087683		送信済		
2 EMAIL	KOIDE@KISS21.CO.JP		送信済		
1 PRINT	\\PS1\LBP450		送信済		
4 PRINT	\\PS1\LBP450		送信済		

サービス“ FAX ”で画面 2 行目（スプールファイルの 3 ページ目）に
“ R ”（再送信）を実行し、最終ページまで送信なら Y を入力に“ Y ”を入力した場合の再送信されるページは、

選択した画面 2 行目（スプールファイルの 3 ページ目）と画面 3 行目（スプールファイルの 6 ページ目）のみが再送信されます。



画面の 4 行目（スプールファイルの 2 ページ目）、5 行目（スプールファイルの 1 ページ目）、6 行目（スプールファイルの 4 ページ目）はサービスが選択した画面 2 行目のサービスと異なるので、再送信されないことに注意してください。

注意：上記例の画面 3 行目（スプールファイルの 6 ページ目）の宛先が、画面 2 行目（スプールファイルの 3 ページ目）と違う場合は、画面 2 行目（スプールファイルの 3 ページ目）のみが送信されることに注意してください。
複数ページの再送信は同一送信サービスでかつ同一宛先のみです。

例：ページ単位画面のフォーマット：“ P ”で表示

フォーマット: P	1	WILCOMM インターセプター	: KOIDE	10:18AM	2/02/27
OPT ページ	サービス	件名/宛先	MSGID: MSG12229	状況	
	1	EMAIL KOIDE@KISS21.CO.JP		送信済	
	2	EMAIL KOIDE@KISS21.CO.JP		送信済	
	3	EMAIL KOIDE@KISS21.CO.JP		送信済	
	4	EMAIL KOIDE@KISS21.CO.JP		送信済	
<u>R</u>	5	EMAIL KOIDE@KISS21.CO.JP		送信済	
	6	EMAIL KOIDE@KISS21.CO.JP		送信済	
	7	EMAIL KOIDE@KISS21.CO.JP		送信済	

全てのサービスが EMAIL で画面 5 行目（スプールファイルの 5 ページ目）に
“ R ”（再送信）を実行し、最終ページまで送信なら Y を入力に“ Y ”を入力
した場合の再送信されるページは、

画面 1 行目（スプールファイルの 1 ページ目）から画面 7 行目（スプール
ファイルの 7 ページ目）の全ページが再送信されます。

例：ページ単位画面のフォーマット：“ E ”で表示

フォーマット: E	1	WILCOMM インターセプター	: TEST-WM	12:41PM	2/02/27
OPT ページ サービス	件名/宛先	MSGID: MSG12236	状況		
3 FAX	9999-9999		** 失敗 **		
8 FAX	9999-9999		** 失敗 **		
<u>R</u> 15 FAX	9999-9999		** 失敗 **		
23 EMAIL	WILCOMM		** 失敗 **		

送信エラーのみを表示し、画面 3 行目（スプールファイルの 1 5 ページ目）に
“ R ”（再送信）を実行し、最終ページまで送信なら Y を入力に“ Y ”を入力
した場合の再送信されるページは、

画面 1 行目（スプールファイルの 3 ページ目）、画面 2 行目（スプール
ファイルの 8 ページ目）画面 3 行目（スプールファイルの 1 5 ページ目）のみが
再送信されます。



画面の 4 行目（スプールファイルの 2 3 ページ目）はサービスが選択した
画面 1 行目のサービスと異なるので、再送信されないことに注意してください。

■新規配信アドレス

既に送信された宛先または入力ミスなどによる不明宛先などを、上書きする事により
上書きされた宛先に再送信されます。

例：1 ページのみを違う宛先に再送信する場合

KOIDE	WILCOMM - 再処理要求	12:53PM 2/02/27
MSG: MSG12234 WILCOMM インターセプター : TEST-WM		
ページ: 2 KOIDE@KISS21.CO.JP		
再送するページ数 (このページを含む) : 1 (9999 で最終ページまで送信)		
または 最終ページまで送信なら Y を入力 :		
新規配信 アドレス :		
<u>KOIDE@KISS21.CO.JP</u>		
オリジナル 詳細 :		
アドレス : KOIDE@KISS21.CO.JP		
ステータス : 送信済		
ウィザード セクション : MAIL		サービス : EMAIL
送信情報 : 14:00:27 23/02/02		
処理 MSG: SENT TO MAIL SERVER.		
補足 :		
追加情報 :		
F10= 継続		F12= 戻る

 新規配信アドレスを上書き

新規配信 アドレス :
<u>WILCOMM@KISS21.CO.JP</u>

新規配信アドレスに上書きされた宛先に、送信が行われます。

例：複数ページ（同一サービス／宛先のもの）を違う宛先に再送信する場合

フォーマット: P	1	WILCOMM インターセプター : KOIDE	1:00PM 2/02/27
OPT ページ サービス	件名/宛先	MSGID: MSG12229	状況
<u>R</u>	1 EMAIL KOIDE@KISS21.CO.JP		送信済
	2 EMAIL KOIDE@KISS21.CO.JP		送信済
	3 EMAIL KOIDE@KISS21.CO.JP		送信済
	4 EMAIL KOIDE@KISS21.CO.JP		送信済
	5 EMAIL KOIDE@KISS21.CO.JP		送信済
	6 EMAIL KOIDE@KISS21.CO.JP		送信済
	7 EMAIL KOIDE@KISS21.CO.JP		送信済



KOIDE	WILCOMM - 再処理要求	1:01PM
2/02/27		
MSG: MSG12229 WILCOMM インターセプター : KOIDE		
ページ:	1	KOIDE@KISS21.CO.JP
再送するページ数 (このページを含む) : 1 (9999 で最終ページまで送信)		
または 最終ページまで送信なら Y を入力 :		
新規配信 アドレス :		
<u>KOIDE@KISS21.CO.JP</u>		
オリジナル 詳細 :		
アドレス : KOIDE@KISS21.CO.JP		
ステータス : 送信済		
ウィザード セクション : KOIDE-M		サービス : EMAIL
送信情報 : 12:09:46 23/02/02		
処理 MSG: SENT TO MAIL SERVER.		
補足 :		
追加情報 :		
F10= 継続		F12= 戻る



最終ページまで再送信かつ
新規配信アドレスを上書き

再送するページ数 (このページを含む) : 1 (9999 で最終ページまで送信)	
または 最終ページまで送信なら Y を入力 : <u>Y</u>	
新規配信 アドレス :	
<u>WILCOMM@KISS21.CO.JP</u>	

新規配信アドレスに上書きされた宛先に、全ページが送信が行われます。

例：複数ページ（同一サービス／宛先が異なるもの）を違う宛先に再送信する場合

フォーマット: P	1	WILCOMM インターセプター : KOIDE	1:00PM 2/02/27
OPT ページ サービス	件名／宛先	MSGID: MSG12230	状況
<u>R</u>	1 EMAIL KOIDE@KISS21.CO.JP		送信済
	2 EMAIL NABA@KISS21.CO.JP		送信済
	3 EMAIL TAK@KISS21.CO.JP		送信済
	4 EMAIL KATO@KISS21.CO.JP		送信済
	5 EMAIL MUNETO@KISS21.CO.JP		送信済



KOIDE	WILCOMM - 再処理要求	1:01PM
2/02/27		
MSG: MSG12230 WILCOMM インターセプター : KOIDE		
ページ: 1 KOIDE@KISS21.CO.JP		
再送するページ数 (このページを含む) : 1 (9999 で最終ページまで送信)		
または 最終ページまで送信なら Y を入力 :		
新規配信 アドレス :		
<u>KOIDE@KISS21.CO.JP</u>		
オリジナル 詳細 :		
アドレス : KOIDE@KISS21.CO.JP		
ステータス : 送信済		
ウィザード セクション : KOIDE-M サービス : EMAIL		
送信情報 : 12:09:46 23/02/02		
処理 MSG: SENT TO MAIL SERVER.		
補足 :		
追加情報 :		
F10= 継続		F12= 戻る



最終ページまで再送信かつ新規配信アドレスを上書き

再送するページ数 (このページを含む) : 1 (9999 で最終ページまで送信)		
または 最終ページまで送信なら Y を入力 : <u>Y</u>		
新規配信 アドレス :		
<u>WILCOMM@KISS21.CO.JP</u>		

新規配信アドレスに上書きされた宛先に、1 ページ（画面 1 行目）のみに送信が行われます。

注意：複数ページの再送信は同一送信サービスでかつ同一宛先のみです。

■ ファンクションキー

F10= 継続

F12= 戻る

“ F12= 戻る ” は A S / 4 0 0 (iSeries400) の操作に準拠しています。

“ F10= 継続 ” を実行することにより、 W i l C o m m に対して再送信処理の指示が行われ、スプールファイル（ページ）の再送信が行われます。

送信エラー（状況：失敗）のデータの再送信を行うと以下のように状況が変化します。

OPT ページ サービス	件名／宛先	MSGID: MSG12533	状況
<u>R</u> 1 FAX	9999-9999		** 失敗 **



オプションに “ R ”（再送信）を入力し、再送信処理を継続／実行を行うと、ページ単位画面に戻ります。

OPT ページ サービス	件名／宛先	MSGID: MSG12533	状況
1 FAX	9999-9999		** 失敗 **

この時、状況は「失敗」のままです。



ここで F 5（再表示）（または全画面に戻り再度表示）を実行します。

OPT ページ サービス	件名／宛先	MSGID: MSG12533	状況
1 FAX	9999-9999		<< 再送信 >>

再送信されたページの状況は「<< 再送信 >>」に変化します。

送信済（状況：送信済）のデータの再送信を行うと以下のように状況が変化します。

OPT ページ サービス	件名／宛先	MSGID: MSG12535	状況
<u>R</u> 1 FAX	5408-7683		送信済



オプションに“ R ”（再送信）を入力し、再送信処理を継続／実行を行うと、ページ単位画面に戻ります。

OPT ページ サービス	件名／宛先	MSGID: MSG12535	状況
1 FAX	5408-7683		送信済

この時、状況は「送信済」のままです。



ここで F 5（再表示）（または全画面に戻り再度表示）を実行します。

OPT ページ サービス	件名／宛先	MSGID: MSG12535	状況
1 FAX	5408-7683		送信済

再送信されたページの状況は「送信済」のままです。送信済のページを再送信しても、状況は「送信済」から変わらないことに注意してください。

“ F10= 継続 ” にて再送信を実行すると、再送信したデータがスプールファイル単位画面に再送信データとして追加されます。

フォーマット: 1	KOIDE	WILCOMM メッセージ・リスト	1:20PM 2/02/27
メッセージ	件名		状況
X MSG12244	<R> KOIDE@KISS21.CO.JP		E-M 送信済
MSG12234	WILCOMM インターセプター : TEST-WM		MS- 送信済 <F
MSG12229	WILCOMM インターセプター : KOIDE		E-M 送信済



ページ単位画面を表示

フォーマット: P	1	<R> KOIDE@KISS21.CO.JP	1:20PM 2/02/
OPT ページ サービス	件名／宛先	MSGID: MSG12244	状況
1 EMAIL	WILCOMM@KISS21.CO.JP		送信済
2 EMAIL	WILCOMM@KISS21.CO.JP		送信済
3 EMAIL	WILCOMM@KISS21.CO.JP		送信済
4 EMAIL	WILCOMM@KISS21.CO.JP		送信済
5 EMAIL	WILCOMM@KISS21.CO.JP		送信済

再送信で指定されたページのみが表示されます。